

第 2 回 杉並区立西宮中学校改築等検討懇談会

会 議 名	第 2 回 杉並区立西宮中学校改築等検討懇談会
日 時	令和 7 年 6 月 20 日（木）15 時 00 分～17 時 05 分
場 所	西宮中学校 多目的室
出 席 者	< 委員 > 学識経験者：柳澤 要、入江 優子 宮前五丁目南地区防災防犯会会長：大熊 和夫 宮前五丁目北地区防災防犯会：浅田 良子 西荻南一、二丁目南部町会：小山 圭子 久我山西自治会：鎌田 あつ子 松庵東町会：三浦 春江 西宮中学校 P T A 会長：廣田 香乃子 西宮中学校 P T A：坂井 初枝 西宮中学校学校運営協議会会長：岩谷 俊行 西宮中学校学校運営協議会：立入 聖堂、小寺 正芳 西宮中学校学校支援部本部長：大島 和美 西宮中学校学校青少年委員：齋藤 千帆 西宮中学校校長：立花 忠司 西宮中学校副校長：大金 泰光 高井戸第四小学校校長：本橋 忠旗 松庵小学校校長：戸口 満 高井戸第四小学校 P T A 会長：安田 敬子 松庵小学校 P T A 会長：室津 佳介 ゆうゆう館関係者：桐ヶ谷 仁 懇談会委員 21 名（欠席 5 名） < 事務局 > 学校整備・支援担当部長：高山 靖 学校整備課長：安川 卓弘 教育施設計画推進担当係長：山田 育未 学校支援課長：中曽根 聡 地域施設担当課長：近藤 伸吾 高齢者施設整備担当課長：海津 康德
傍 聴 者	5 名
次 第	1 開会 2 第 1 回懇談会のご意見・アンケートについて 3 複合化の事例紹介について 4 改築基本方針（たたき台）について

	5 事務局からの連絡事項
資 料	資料 1 杉並区立西宮中学校校舎改築検討懇談会委員名簿(差し替え) 資料 2 第 1 回懇談会での主な意見等について 資料 3 アンケートでの主な意見等について 資料 4 改築基本方針(たたき台)について 参考資料 1 西宮中学校改築に関する要望書 参考資料 2 複合化事例 参考資料 3 改築基本方針(神明中学校) 参考資料 4 改築基本方針案 (西宮中・宮前図書館改築検討懇談会(R4.9月)) 参考資料 5 西宮中学校コミュニティふらっと改築ニュース創刊号

委員	ただいまから、第 2 回杉並区立西宮中学校改築等検討懇談会を開催いたします。 本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。本日の懇談会ですが、2 時間程度を予定しております。進行につきまして、ご協力のほどよろしくお願いいたします。 なお、本日は 5 名の委員からご欠席との連絡を受けております。 それでは、配付資料の確認等を事務局のからお願いいたします。
教育施設計画 推進担当係長	事務局の教育施設計画推進担当係長です。後ほど自己紹介させていただきますが、まずは資料の確認をさせていただきます。 まず、お手元にこちらのアンケートと、カラーの施設案内はございますか。あとは私の名刺が置いてございます。 まず、事前に送付した資料はお手元にありますでしょうか。 訪問したい学校のアンケート記載をしていただきましたら、後ほど入り口でアンケートのボックスで回収をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 資料としては、次第が 1 枚、資料が 1 から 4 まで、それと参考資料として 1 から 5 までお送りしております。右上、ものによっては左上に資料番号が記載されておりますので、ご確認いただければと思います。 では、お席にアンケートが先ほど申し上げたようにありますので、何か感想ですとかそういったものがございましたらご記入をお願いいたします。 席次表は入り口でお渡しさせていただきましたので、ご確認をお願い

	いたします。 配付しました資料ですけれども、前回同様、次回も使用する場合がありますので、お手数ですが懇談会にご持参いただくよう、よろしくお願い申し上げます。 懇談会を進めるに当たりまして、前回同様お願いがございます。 会議は原則公開となります。また、会議資料や会議録も原則公開となり、教育委員会のホームページに後日掲載させていただきます。会議の記録のため、録音・撮影をさせていただくことをご了承くださいますようお願いいたします。 また、懇談会を傍聴したいとご希望される方がいらっしゃる場合は、基本的にお認めすることとなっておりますので、あらかじめご了承願います。なお、前回と同様、本日、傍聴者は発言ができませんので、ご承願います。 また、本日は事前問合せの段階で、4名の方が傍聴ということでお申込みを頂いております。 以上、私から資料の確認等、ご案内させていただきました。
委員	続いて、次第に入る前に、今回は第1回ということでご出席された委員の方々から自己紹介をしていただきましたが、前回欠席された委員の方が本日いらっしゃいますので、自己紹介をいただきたいと思います。
委員	東町会を代表しまして参加しております。よろしくお願い申し上げます。
委員	松庵小学校校長です。よろしくお願い申し上げます。
委員	高井戸第四小学校校長です。どうぞよろしくお願い申し上げます。
委員	では、事務局、教育施設計画推進担当係長お願いします。
教育施設計画 推進担当係長	私、杉並区役所の教育委員会事務局学校整備課の教育施設計画推進担当係長です。よろしくお願い申し上げます。
委員	ありがとうございました。 それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。 次第2「第1回懇談会のご意見・アンケートについて」、事務局から資料の説明をお願いします。
教育施設計画 推進担当係長	では、次第2「第1回懇談会のご意見・アンケートについて」ということで、事務局から資料の説明をさせていただきますとともに、皆様、お手元に資料2をご用意いただければと思います。 前回ご欠席の方もいらっしゃいましたので、少し丁寧に振り返りをさ

	せていただければと思います。 今回は多くのご意見を頂きまして。本当にありがとうございました。前回、皆様からお一人お一人ご意見を頂きまして、そのことについて事務局でまとめてみました。今回の議論につながるご意見を中心にご紹介させていただければと思います。 まず、学校施設や学校改築全般に係るご意見、ご要望です。 まず学校に関するご意見としては、子どもたちを大事にする教育をするための学校設備を計画、状況に応じたスペースの確保、子どもたちの意見を聞く、余分があるクラス数、熱中症対策を考慮した運動施設の配置、将来における学校施設の運用や活用方法などのご意見を頂きました。 意見の中でも多かったのが、「スペースの確保」というキーワードが多かったという印象でした。 皆様のご意見を全て一つ一つ話しているとなかなか時間がというところなので、少し省略はしております。こちらが学校に関することになります。 次に、コミュニティふらっとに関することも意見をまとめました。 コミュニティふらっとに関するご意見としては、中学生のセキュリティー・プライバシーの確保、中高生が放課後にふらっと寄れる場所、子どもたちへの意見聴取など、中学校との併設という観点からの複数のご意見を頂きました。一方、コミュニティふらっとが多世代型の施設ということで、地域の様々な世代が交流する場となってほしいというご意見も頂いております。 そして、最後に共通したご意見なのですけれども、まず先生方のご意見も集約、先行事例やモデルプランの共有、中学生の意見を聞くワークショップの開催、施設の相互利用・協働の課題、効率的な施設管理の検討、双方においての中学生に適した環境づくり、震災救援所としての活用に適した施設というご意見を頂きました。 また、先日、委員の方よりご要望を頂いた形になるのですが、最後の3つがご意見を記載したものになりますのでこちらをご紹介します。 こちらについては、参考資料1にご要望が細かくございますので、御覧いただければと思います。 それでは、よろしくお願いします。
委員	前回の終わりぐらいに「要望書を出す場合に、こういったフォームで、

いつまでに、どなた宛に出すべきでしょうか」という質問をしましたら、会議が終わった時点でお答えいただきまして、それに即して私のほうで、私というのは震災救援所の運営連絡会の会長ですけれども、防災に関する要望を組織でまとめまして、出させていただいたものが参考資料の1に書いてあります。

これは私が書いた書式とは全然違うものですが、内容は全く同じものがここに示されていて、要望書に全部で3つのポイントで書かせていただきました。

1つは、先ほど、皆さんからの第1回の懇談会での意見がまとめられた部分にもあったのですが、今後、学校というところは、学校関係者だけではなくて、広く地域の方も含めて、今までの学校のメンバー以外の人が入ってくる可能性もあるということも前提にしているのですけれども、私たちが1つ目に言っていることは、学校にパーテーション機能をつけるということです。すなわち、随時、適宜、その判断をして、ここにパーテーション、すなわち壁を造るということでもあります。そういったことを校内の幾つかの場所に置くべきだと。

なぜかという、私たちはコロナで相当苦労しました。すなわち、隔離をしていかないといけないのです。避難してくる方々をその状況に応じて隔離をする。でも熱のある人、下痢が止まらない人とかいろいろな病状に応じて幾つかのグループに分けて、隔離していかなければいけません。そして、もう1つは、そのご家族。発症はしてないけれども疑わしい方々も別個隔離していけないといけないということで。

ただ、今の学校の状況としては、隔離をするというのは非常に難しい配置なり空間になっておりますので、シャッターの手動式、手動式というのは、停電しておりますと電気は動きませんから、電源ではないと動かないようなシャッターは役に立たないので、手動式のシャッターを各階に幾つか設けていただくことによって震災時にあらゆる機能を分けて、しかも感染症対策も含めて、このパーテーション機能というのはどうしても必要だと思いましたので書かせていただきました。

結果的に、初めにお話ししましたが、学校にいろいろな方々がこれから先、おいでになる可能性があります。そんなときに中学生や学校機能の健全なプライバシーとかセキュリティを維持するために、意図的にある部分を閉めたりする機能があるというのは、私は保安上も非常に大事なことはないかなと思っておりますので、1番にはそういったことを書かせていただきました。

	2番は、今、私たちは、備蓄品といいまして、避難者用のあらゆる備蓄品を私たちは保管しておるわけですが、西宮は今現在も非常に教室が足りませんので、私たちはその 85%ぐらいを郊外の建物の外の倉庫に置くような状況で管理しております。これは、物によっては非常に劣化が進みますし、また、食糧はとてもそんなところに置けませんので、そういった意味で、まずは今度の新築の校舎に関してはしっかりとした部屋の中にちゃんとスペースを取って、防災倉庫として機能するようなスペースを設けていただきたいというのが2番でございます。 3番は、これはもう最近の新設の学校には必ず設置されているのですが、いわゆる外の校庭にトイレをあらかじめ掘っておいて、誰でもそこにトイレを敷設して、万が一のときには非常トイレになるという機能を設けるという機能であります。これは、多分私が要望しなくても必ずつくのですが、大事なことは、たくさんの方がそこで用を足しますと、排水の傾きを計算して作っていらっしゃるのかもしれませんが、大量にそこで用を足されると詰まってしまう可能性が高いということを最近聞きました。 そこで、ちゃんと水が流れるような、それは普通に水道が流れている状況ではなくて、断水時においてもこちらの判断で井戸の水であるとかそういったものを利用して随時そこに水が流れるような機能をつけていただくことによって、屋外の非常トイレを半恒久的に使えるようなシステムのものを備えていただきたいというのが3番でございます。 以上、3点をメンバーで相談してご要望させていただいたという経緯でございます。ありがとうございます。
教育施設計画 推進担当係長	ありがとうございました。 ここで、学校から情報提供ということで発表があるということなので、お願いいたします。
委員	中学生の意見を聞くワークショップが必要だというご意見を頂きましたので、実施することで考えています。6月30日に生徒が参加するワークショップを開催します。 本日から参加者を集っていて、最大50名程度募集をして、この場で1時間程度ワークショップを行う予定になっています。 それから、それとは別に、生徒を対象にしたアンケートも実施したいと思っています。14項目質問に答える形でオンラインで来週いっぱい行いたいと思っています。 併せて本校の教職員に対しても同じようにアンケートを取っていき

	たいと考えております。 以上です。
教育施設計画 推進担当係長	ありがとうございました。 それでは、資料３に進めさせていただければと思います。 こちらのアンケートでは、前回、発言し忘れたこととか、そういった思いがあったところをアンケートとして皆様にとらせていただきました。こちらをかいつまんで説明をさせていただきます。 改築に向けてどのようなことが望ましいか、あるいは期待することを含めたアンケートということで取らせていただきました。 「改築基本方針作成のためのアンケート」として、まずは、現在の西宮中学校のよさ、あるいは特徴について教えてくださいという設問でした こちらのご意見としては、生徒たちが活発に活動する場があり輝いている。部活動が盛ん。多目的室のような余裕のある教室があり日中そこをフルに活用できる。公立学校のよさは地域との結びつき、地元にあるよさ。環境・居心地のよさ。今学びたいことが今学べる学校などを皆様にご意見として頂きました。 次に、改築に期待することを教えてくださいということで、こちらもご意見を頂いております。 まず、学校改築に期待するご意見としては、十分体を動かせる運動場・グラウンドの確保、現状よりも多い部屋の確保・機能の充実、プライバシーの確保、教職員の負担軽減、子どもの自由の確保、諸室の確保、学びたいを引き出せる学校、小学校への情報提供、そういったものが挙げられました。 次に、コミュニティふらっとですけれども、コミュニティふらっと宮前の整備に期待するご意見です。１ページおめくりください。裏面になりますが、ティーンズタイムの設置、中高生が放課後を過ごせるスペースなど、若い世代が使いやすい施設を求めるご意見がありました。また、地域におけるよりよい在り方や福祉を考えた施設、年齢を重ねても使いやすい施設というご意見を頂きました。 最後に共通部分の整備に期待するご意見なのですが、使い勝手のよい施設、子どもたちと地域の人々との関わりがある、そういったものの維持、愛着の持てる温かみのある施設、利用者・生徒・先生・地域全員が笑顔で相互利用がある施設、生徒ヒアリングに基づく施設、動線の十分な協議、学校・集会室双方の使いやすさ、学校の機能の役割の柔

	軟さの維持という期待を込めたご意見を頂きました。 皆さん本当にたくさんのご意見を頂きましてありがとうございます。 以上のようなご要望、ご意見を頂きまして、こちらについて後ほど改築基本方針の中でもう一度、具体的に説明させていただければと思いますので、本当にご意見ありがとうございます。 以上になります。
委員	それでは、一旦ここまでで何かご意見、ご質問がありますでしょうか。 もしありましたら挙手をお願いいたします。 よろしいでしょうか。 それでは、続きまして次第3「複合化の事例紹介について」、事務局から説明をお願いいたします。
教育施設計画推進担当係長	それでは、参考資料2と、本日お配りしたカラーの施設案内「なでしこ小学校」と書いてあるものを御覧いただければと思います。 今回、学校と地域交流施設の複合化の事例ということで、事務局で調査したものをまとめました。ここでは2つご紹介させていただきます。 アンケートとかご意見の中でも、先行事例を参考にとというご意見がございましたので、お時間も限られているので、2つ厳選させていただきました。 まず、参考資料2ですけれども、1つ目が北区にあります「なでしこ小学校」です。こちらの概要については記載のとおりではありますが、こちらは平成30年竣工になっております。 実は、こちらは北区でも地域コミュニティ活動の拠点である地域振興室とふれあい館が併設された北区で初めての小学校と地域施設の複合施設ということです。ですので、西宮中学校と恐らく状況としては、西宮中学校も区内で初めて地域施設と小学校が一緒になるというもので、同じような状況です。 地域の方々とのワークショップを通じてのコンセプトの確立や施設計画が進められたという形です。 あと、これは小学校なので児童という形ですけれども、児童から地域の方まで様々な居場所となり、いろいろ共有スペースもありますので、中庭や共用のランチルームから相互の活動が感じられる地域の絆を育めるような計画で建てられたようです。 地域施設からの利用も考慮した特別教室への動線、セキュリティの確保、そういったものも配慮した地域の誰もが快適に使えて、様々な人々

の交流も生み出せる新たな地域拠点というコンセプトで当時建てられたという形です。

先ほど申し上げた地域振興室とふれあい館ですけれども、杉並区でいえば、地域振興室というのは西宮中学校の地域だと高井戸地域区民センターみたいなものです。ふれあい館というのは、貸出しできる集会所という形です。ですので、北区の場合は西宮と全く同じではないのだけれども、地域に貸し出す集会所も併設している形です。

こちらの運営ですけれども、地域団体が行っております。学校開放の受付も行っているようで、もしかすると、そういったところは将来の西宮中学校の複合施設の参考になる可能性もあるかなと。こちらの学校というか北区の教育委員会に確認をしたところ、そちらの点については学校の負担軽減にもなっているのかなということで回答いただきました。

あと、先ほどセキュリティのことを申し上げたのですが、立川で事件があったので、セキュリティ面はどうですかねということでも聞いてみました。図面にもあるのですけれども、入り口、門を明確に分けるなど、学校と地域施設利用者が施設内で混在しないようにしていると。あと、共有想定のレストランは、学校・地域両方から出入りできる位置に配置し、両側をシリンダー錠で管理しているということでした。

あとは、体育館や特別教室も貸出しをしていますということだったのですけれども、こちらも地域施設側から行き来できる形となっているのですが、普通教室側に出入りできないように、ここの図面には記載がないのですけれども、木の柵でセキュリティを確保しながらトイレとか手洗い場に地域の方が行けるような配置をしていますということで北区の担当の方からご意見を頂きました。

そのほか今後参考になるかなという点をお伺いしましたら、これは恐らく複合施設ではどこでもあるかもしれないのですが、地域開放の苦情が学校に行ってしまうたり、逆に学校の苦情が地域開放の担当に行ってしまうたり、そういったこともあるようです。そういった観点を今後の西宮の運営とか地域の施設等とどうやって分けていくのかとか、そういったところは勉強になるところかなと思ひまして紹介をさせていただきました。

こちらがまず北区のなでしこ小学校になります。

次、おめくりいただきまして、神奈川県横浜市にあります東山田中学校になります。こちらも概要を記載しております。

こちらは、図書コーナーとか市民利用施設コミュニティハウスという

	ものを横浜市の教育委員会が運営する施設で、このコミュニティハウスは、委託事業としてNPOの区民の交流協会が運営しているという形になっているそうです。 資料にも記載があるのですが、「コミュニティハウスの運営は市民」とありますが、市民団体が行っているという形になります。 ここも休校時のセキュリティ対策としては、教室と地域住民の利用施設の間にシャッターを設置したりとか、そういった形で対策はしているということでした。 あとは地域住民による中学生向けのキャリア教育を行うなど、集うことができる場を提供できるということで、学校と地域の住民間でのつながりが深まっているということで、こちらも先行事例になるかなと思ひまして紹介をさせていただいております。 このコミュニティハウスはどんなものか、どういう目的でという話なのですが、身近な生涯学習活動の場、地域活動の場、地域と学校等を結ぶ場、大人も子どもも共に学び有交流できる施設として幅広く利用できる場所だそうです。 ですので、そういう点では、将来の西宮中学校の運営、一緒にコミュニティふらっとも併設するという点では大変参考になる事例かなというところです。 実は、次回の7月11日のこの懇談会でこちらのコミュニティハウスを立ち上げたNPO法人「まちと学校のみらい」の代表理事であられる竹原さんという方にお越しいただいて、先行事例としてお話しいただくと思っております。 こちらのコミュニティハウスは、たしか平成27年ぐらいからやられているので、課題とか学べる点がいろいろ恐らくございますので、7月11日に竹原様にご講演いただいて、そのときに質問とか、そういったことがあれば皆さんと一緒に聞いてみたいということで、今回は東山田中学校の紹介はここまでにしておきます。7月11日、竹原さんから講演を聞いて一緒に学べればと思いますので、よろしくお願いいたします。 先行事例の発表は以上になります。
委員	ありがとうございました。 では、今の事例について、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。
委員	北区なでしこ小学校の記述で「体育館や特別教室は地域施設側から行

	き来できる」と書いてあるのですけれども、これは地域施設として利用できるということですか。
教育施設計画 推進担当係長	今、杉並区でも体育館は地域の方に貸出しをしていると思うのですけれども、それと同じ扱い、杉並区でいう学校開放です。そういった形と同じかなと考えております。 もしよろしければ、私で答えられないことはまた北区の方にお伺いして、次回回答させていただければと思います。
委員	分かりました。特別教室の開放ということなのか、全ての特別教室を2階に置いてありますが、そこも全部開放ゾーンなのか確認したいと思いました。 地域施設は、恐らく平日の昼間も使っているわけですね。
教育施設計画 推進担当係長	高井戸地域区民センターの場合も集会所とか、平日も利用可能でございますので、同じ扱いかなと想定されます。
委員	その場合に、平日の日中、勝手に2階に上がれないようにはなっているということですね。特別教室とか体育館は放課後とか週末に利用できる形で、恐らくセキュリティゾーンが少し細かく分かれているのかなと。
教育施設計画 推進担当係長	平日は学校が当然のように使っていっぱいますので。 あと、こちらは地域の窓口がきちんと、地域の門の入り口がございますので、そこできちんと受付をして案内ということですので、使用する時間帯は、杉並区もそうですけれども、明確に分けられていると考えられます。
委員	ほかにございますでしょうか。
委員	西宮中学校運営協議会の会長です。 同じことばかり言って失礼かもしれないのですけれども、やはり校地面積と校舎の建物の関係と地域に開放する施設の全体像がなかなか見えないというのがあって心配しているのですけれども、例示されてある北区のなでしこ小学校は、大体本校と同じくらいの敷地面積で、本校は、区が発表したものだと1万800平米くらいで、測り直したら1万200平米くらいになるかもしれないということなので、北区のなでしこ小学校と同じくらいです。 これを見ると、校庭は小学校なので130メートルのグラウンドで設計していますよね。中学校の場合は少なくとも150メートルにしてほしいということなので、校庭面積がもうちょっと広がったときに、この学校は地下1階、地上5階か6階の校舎で、もちろん児童数が多いので、

	1 階部分は教室を減らせばいいという話になるかもしれませんが、そう考えたときに、本当にここは大丈夫なのかなと。 一緒につくることで、どう運営するかはとても大事なことで、連携することは本当に大事なのですけれども、そちらだとそっちでそういつてしまうのかなと、ちょっと心配しているところなのです。 それからもう 1 つの横浜は、この学校の 2 倍の校地面積のところの造ってあるということを頭に入れて議論を進めていただけるとうれしいなと思っています。よろしくお願いいたします。
教育施設計画 推進担当係長	ありがとうございます。 建物の規模とか本当に西宮と異なる点が多々ありますけれども、地域と学校とのつながりの運営方法とか、あとはセキュリティのこととか、少し学べる場所があればいいかなということで今回ご紹介させていただきました。ですので、全く同じということではないのですけれども、先行事例としてこういったものがある、そこで皆様で何か学べるものがあればということで。 また、7 月 11 日の講演会するときでも皆様からご意見いただければと思いますので、よろしくお願いします。
委員	北区のなでしこ小学校ですが、事業スケジュールを見ると、2018 年から新しい校舎と地域の施設が動いていると思うのですが、現在までの数年間でどういう運用が行われて、何か課題があるとか、あるいはこういうことが非常にうまく交流できているとか、そういったことはありますでしょうか。
教育施設計画 推進担当係長	先ほど申し上げた課題としては、地域の施設の苦情が学校に行ってしまったとか、学校の苦情が逆に地域施設の受付に行ってしまったとか、そういったことがありましたということでご意見は頂いております。
委員	私が伺いたかったのは、実際に児童の教育活動への課題があったり、あるいは集会施設の利用と学校との利用の中で困るようなことがあったり、電話のことは分かりますけれども、それ以外に実際に子どもたちへの影響とか、その辺はどういうものなのでしょう。 ここに集う人たちと子どもたちとの交流が実際に起きているのかとか、そういったことも含めて伺いたかったのですが。
学校整備課長	ありがとうございます。 聞くところでは、コロナ禍もあって、なかなか交流ができないという時期が長く続いた関係もあって、当初考えていた交流、相互作用みたい

	なものが十分できているかというところについては今後の課題だというようには聞いております。細かいところは我々もまだ具体的に聞くことができていないので、また今後聞けるところは聞いて、取材をしたいと思っています。
委員	ほかにいかがでしょうか。 よろしいでしょうか。 では、続きまして次第の４「改築基本方針（たたき台）について」、事務局から説明をお願いします。
教育施設計画 推進担当係長	それでは、次第４に移らせていただきます。 資料４、参考資料３、４を御覧いただければと思います。 まずは資料４です。Ａ３のものです。 何のためにこの改築基本方針というものをつくるのかということを申しますと、基本方針というのが目指すべき学校像、こんな学校にしたいというものです。こちらを今年度は基本計画という形で整理して、プロポーザル選定を経て具体的な設計に入るという形になっております。 それに当たって設計の与条件、例えば学校やコミュニティふらっとをどういった形で、またはどういった交流施設を目指して、あるいは相互にどのような関係で利用していくのかという考えをまとめるものにとっても大切なものになっていきます。ですので、これを基に具体的な設計を行っていくものと考えています。 前回の懇談会でもお配りした資料４に今後のスケジュールがあったのですが、先ほど申し上げたとおり、今後行われるプロポーザル選定において、本当に指針となるものとなっております。ですので、西宮中学校改築等検討懇談会において皆様に議論していただいて、今はたたき台となっているのですが、こちらをきちんとした改築基本方針ということで決定するとともに、この方針を踏まえた、この方針でつくってくださる設計事業者を選定した上でこの設計作業に着手するという形になります。 今回の資料４、この改築基本方針はあくまでもたたき台ですので、今後さらに皆様のご意見を踏まえて充実していければと考えております。 では、こちらの資料４について説明させていただくのですが、次第２で先ほどご紹介させていただきました第１回目のご意見、アンケートで出たものを踏まえて、事務局でつくらせていただきました。先ほどの資料２とか資料３です。皆様のご意見アンケート。 これだけではということなので、参考資料に前回の懇談会でも掲載し

たのですけれども、神明中学校の基本方針、参考資料3ということで付けてあります。

こちらをちょっと見ると、神明中学校は、例えば、隣に天祖神社があったり、あとは震災救済所の活動も西宮と同様活発ですので、参考資料3を見ると、少し細かくそこも入れております。

あと、2年前に西宮中学校でも同じようにこういった懇談会を行いました。半分以上の皆様がそこにもご出席いただいたと思うのですけれども、当時の資料も参考資料4として今回入れております。こういったものを参考にしながら、資料4をまた御覧いただければと思います。

資料4に戻りまして、今回大きく3つに分けています。1つは学校関係、2つ目はコミュニティふらっと宮前のこと、そして3つ目に共通相互利用に関することです。

今回は取り組みがどの部分から引用したか、または参考とした意見はどのようなものかというのが分かるように、右側に示してございます。

ちなみに前回の懇談会の資料3の学校要欄、資料4「西宮中改築及びコミュニティふらっとの整備について」、参考資料2「教育ビジョン」、参考資料5のワークショップの検討まとめなどもこちらに参考として入れさせていただきました。

では、まず学校関連からご紹介させていただきます。

今回、4つの取組に分けて設けております。

まず取組1「少人数や個別学習、学年単位など多様な学習形態に対応できるスペースの確保」。

少人数のスペースや学年単位の多様なスペースが必要だろうということ。先ほどのようなご意見の中にもスペースの確保ということがございましたとおり、そちらを今回入れさせていただきました。このご意見は、2年前にも同じくございましたので、皆様、つくり上げたい施設としては、こういったものを入れないといけないのかなと事務局で考えまして、こういった取組ということで記載をしております。

次、取組2です。「今後の新たな教育や地域のニーズの変化に柔軟に対応し、将来の学級数の変化にも対応できる施設計画」。

これは、今後の時代のニーズにも対応したフレキシブルな施設計画が必要だろうということ。これも同じく2年前にも同じご意見を頂いていて、第1回の懇談会でも先々を見据えた計画が必要だということで頂きましたので、こちらに記載をしております。

次、取組3「文武両道の校風を支える十分な校庭環境の確保」。

	再三言われているのですけれども、校庭の確保、特に文武両道という校風、前回、校長先生からも学校要覧でご紹介がございました。それを支える十分な校庭環境をしっかりと確保しましょうというものがこちらになります。 前回の懇談会の参考資料5にもありました昨年開催されたワークショップ内でも校庭の確保、きちんとした広さの確保が必要だということなので、こちらに記載しました。 学校の最後、取組4「PTAや学校支援本部をはじめ学校運営や教育を支える支援者の活動に配慮した施設計画」。 PTAや学校支援本部の方々に支えられている学校でもありますので、そういった活動にも配慮した施設計画。こちらは、前回の懇談会でも同じく学校要覧に記載ございました、学校運営になくてはならない重要な役割と捉えておりますので、こちらにまとめてみました。 以上が学校関係の取組です。 次に、コミュニティふらっとです。こちらは取組5から7まで3つの取組で設定いたしました。 まず取組5「ゆうゆう大宮前館の機能を継承する観点から、高齢者に配慮した施設計画」。 これは第1回目の懇談会資料4の4ページ目にもあったのですけれども、区立施設マネジメント計画ということで記載がございまして、区は高齢者の居場所を大切に考えてほしいということを昨年のワークショップでもご意見がございまして、ゆうゆう館的要素を残せばいいというご意見もワークショップでございました。 主に昨年度のワークショップでのご意見を参考にして記載いたしました。 次、取組6「中学校敷地内への整備を踏まえた多世代が集い、くつろぎ、身近な地域のコミュニティ形成につながる施設づくり」。 これは主に第1回目の懇談会で出た、期待するもののご意見から頂きました。地域の様々な世代が交流する場となってほしい、放課後の居場所になる場であることも望んでいる、ということで記載いたしました。 最後、取組7です。「生徒のプライバシーや安全に配慮した施設計画」。 中学生のセキュリティ、プライバシーに配慮してほしいということで先ほどご意見いただきまして、動線や学校の安全性など十分に留意してほしい、これは昨年のワークショップでもやはり言われているところでしたので、取組7として記載いたしました。
--	--

	以上がコミュニティふらっと宮前関係です。 最後に共通・相互利用につきまして、取組 8 から 12、5 つの取組になります。 まず、取組 8 「落ち着いた住宅街にある公共施設としてふさわしい、周辺環境と調和した施設づくり」。 これはご意見にもあった部分なのですが、学校要覧からも環境について記載がございました。あと、第 1 回目の懇談会のアンケートでも、出来上がった建物に対して愛着の持てる温かみのある施設であること、あとは学校要覧にも地域参加、地域と一体となった学校づくりということで記載がございましたのでこちらに入れてみました。 取組 9 「学校関係者・震災救済所地域の方の意見を踏まえた使いやすく、運用面に配慮した機能の整備・充実」。 これは主にアンケートで頂いた部分となります。学校開放にコミュニティふらっとが関わるとよいという懇談会のご意見も踏まえ、使い勝手のいい施設であること、日々の活動を想定しての設計が必要だということで、震災救済所の件もご意見の中で頂きましたので、そちらを踏まえて記載をいたしました。 取組 10 です。「将来を見据えて、時代のニーズに応じた有効活用ができる建物整備」。 懇談会のご意見と昨年度のワークショップのご意見を主に記載しております。 将来、生徒が減少した場合に教室を集会室に転用も、ということで第 1 回目の懇談会で頂いて、集会室の運用次第では中学校の現在の部屋不足の問題を解消できるのではないかとということで、昨年ワークショップで頂きました。 次、取組 11 「中学校とコミュニティふらっとの連携により、地域との協働を育む施設計画」。 こちらは主に第 1 回の懇談会のご意見で頂いたものとなります。第 1 回目の懇談会のご意見に協働を促していく仕掛けと管理運営のバランスが課題だと。使う人は使う、使わない人は使わない施設にならないようにという形です。 最後、取組 12 です。「学びのプラットフォームとして、区民の学びや交流の場としての活用が進む、複合化を生かした柔軟で効率的な施設づくり」。 こちらはアンケートにも記載がございましたが、第 1 回目の懇談会の
--	---

資料で「杉並区教育ビジョン 2022」ということで掲載した内容も含まれております。今学びたいことが今学べる学校。学校と集会施設を完全に分ける形となると相互利用、協働が進みにくいということでしたので、取組 12 という形の文言で整理をさせていただきました。

以上、取組 1 から取組 12 までは改築基本方針のたたき台ということで事務局で皆様のご意見、あるいは昨年度のワークショップ、そういったものを参考につくらせていただきました。

今回も今後の議論を踏まえて、皆様からこういったご意見を頂いて、最終的に設計につなげていければいいと考えておりますが、この後、皆様からご意見をくださいということで振らせていただくのですが、なかなかすぐにご意見は出ないかなと思ひまして、せっかくなので前回の懇談会で、神明中学校の基本設計の資料をつけさせていただきましたので、実際にこういった方針が配置図にちゃんと反映されているところを皆様にぜひ御覧いただければと思います。

お手数なのですけれども、前回の懇談会の参考資料 3「杉並区立神明中学校改築基本設計まとめ」というものがお手元にございますか。こちらを基に、もしお隣の方がお持ちでしたら、見させていただく形でもよろしいかと思います。

神明中学校は現在改築が進められておりまして、私、実は担当をしております。今回そういった縁もありまして、せっかく前回出させていただいたので、ご紹介させていただければと思います。

こちらの資料の 16 ページから配置図が掲載されています。神明中学校も敷地面積が狭くて、どうやって建てようかと、そういったところも議論があったのですけれども、実は、私なりに神明中学校の方針は西宮中学校と似通っている部分はあるかなというところだったので、ちょっとご紹介させていただきます。

例えば、18 ページの右下辺りに図書館というのがあります。こちらは、「学校の中心・ラーニングセンターを充実」という形なのです。学校の中心に図書・学習空間を充実させ、生徒の学習への意欲を誘う計画となっております。

ちょっと見づらいのですけれども、図書館の前に大きな階段を設置して、100 人程度が集える空間を設置したのです。ですので、西宮中学校も子どもたちの学習意欲とか本当に盛んですので、そういった子どもたちが集えるところとか、学習の糧になるようなものが西宮中学校も神明中学校もこういった同じような方針がありまして、この件は改築基本方

針のどこなのだろうということになりますと、8 ページに戻っていただくと神明中学校の改築基本方針があるのですが、その取組 B に「ICT 教育環境、校内情報ネットワーク、学校図書館を中心としたラーニングセンター機能の充実」とあります。ですので、ここできちんと方針で掲げていれば、配置でこういった実現可能なものが出てくる可能性もございます。これがまず 1 つ目の例です。

2 つ目なのですが、神明中学校も西宮中学校と同じで、地域活動を想定とした配置を考えております。

また戻るのですが、17 ページです。17 ページの真ん中の辺りにあるのですが、「まとまった地域利用諸室」という形なのです。地下 1 階ではあるのですが、体育館を含めて地域利用がある諸室を西側に配置しています。

あとは「明確なセキュリティライン」。地域利用諸室を開放しやすい計画で、日常また災害時ともにスムーズな施設運営が可能となるようにしております。

神明中学校なのですが、地域の方にも将来的に使ってもらおうと、そういう学校にしようという形になっていますので、1 階と 2 階ですが、1 階はこういった体育館を含めて開放施設、2 階は特別教室がまとめられているのです。2 階は 18 ページになります。ですので、2 階までが生涯学習の層という形で設計をしております。

3、4 階は普通教室をまとめてありますので、そういった形でラインをきちんと明確に設けて、地域の方に開放しやすい学校にしようという形になっております。ちなみにこれは、基本方針の取組 O の部分になります。取組 O には「多様な利用者のためにユニバーサルデザインに配慮し、地域開放の際のセキュリティに配慮した施設計画」と記載しております。

最後なのですが、神明中学校はさっき申し上げたように防災関係も力を入れております。

17 ページに戻るのですが、1 階の P T A ・支援室の隣、会議室と進路相談室は可動の間仕切りがございます。ですので、可動の間仕切りを使って大きな会議室にすることもできるのです。先ほど申し上げましたように、日常、地域の方が使いやすい設計をするとともに災害時にもこういったスムーズな施設運営が可能となるようなものとなっております。あと地域エリアの近くには、可動できる間仕切り等を配置して、フレキシブルに用途を変更しやすい部屋を配置して、災害時に要配慮者、

	恐らく震災救援所の方々は要配慮者とかお聞きになったと思うのですが、そういった方に配慮した設計となっております。 あとは防災井戸やマンホールトイレを体育館に設置したりとか、そういった形で行っております。防災の件については取組PとQです。 先ほど申し上げたのですが、神明中学校も震災救援所、防災の取組を1つのトピックスとして掲げていることによって配置に反映されたという形になります。 あと西宮中学校は、震災救援所のほかに発災後72時間後に必要に応じて、恐らく併設するものもあると思うのです。医療救護所ですかね。そういった震災救援所の計画がもちろんできていると思いますので、そういった計画も基本方針に反映して、これは「らしさ」ではないかもしれないですけども、西宮中学校オリジナルの改築基本方針をどんどん作り上げていって、最終的に、「私たち、こういう改築基本計画をつくりました。こういう学校にしてほしい。だからプロポーザルできちんとそういったものを受けてくれる業者さんをお願いします」、そうすれば、最終的にもしかするとそういったものが反映された設計に、敷地条件とかいろいろあるのですけれども、まずは皆さんがどういった学校、生徒を含め、先生を含め、地域の方を含めてどういった学校にしていきたいか、それをこの改築基本方針で掲げていきたいと思ひまして、今回例を紹介させていただきました。 ちょっと長くなってしまったのですけれども、私からは以上です。
委員	では、ただいまの説明について何かご質問、ご意見等はございますでしょうか。 では、お願いします。
委員	資料4の取組1で少人数や個別学習をするスペースの確保とあります。現在、西宮中へ来ておりますけれども、個別する部屋がないです。今、図書室とか準備室とか、そういうところを使っている状況です。 高二小も行っていきますけれども、新しい学校でありながら、いっぱい部屋があるかということそんなことはなくて、2階に1つあるだけで、そこで個別指導しています。 なので、4月、5月に日本の子どもの数だけカウントしていても駄目で、100名ほど外国から子どもが来ています。中国が圧倒的に多いですけども、ネパール、インドネシアということで。今後、こういう世界情勢ですので、子どもの数が増えるであろうと。特に中国の場合は、一流大学に入らなければいい就職ができないということで、日本のこの地

	域の松庵を狙ってここに住みたいという形で、経済的にも安定しているご家庭が多いみたいですけれども、来ております。 そういうことを考えますと、なでしこの校舎の中に、各階全部個別の部屋が2つずつついていますよね。神明を見ると、多目的室で広いスペースはある。これは多分教室に変換できやすくなる空間かなと思うのですけれども、個別にする部屋が意外とないというか、少ないなと。神明も私は行ったことがありますけれども、やはり個別の教室が少なかったです。 ということで、将来的に西宮を改築するときに、各階に少人数あるいは個別、それから不登校でさざんかに行くとは限らなくて、学校へ来て過ごしたい、だけど教室には行かれない。そういう子もいます。 ということで、その子たちが過ごせるのは、例えば西宮ですと図書室しかなくて、ほかの教室には行かれない。そこをどのように考えておられますか。
教育施設計画 推進担当係長	ご意見ありがとうございます。 お部屋の諸室の関係、有象無象にたくさん部屋を増やすということはなかなか厳しいものがございまして、部屋の数とかは計画で決まっている部分もございますので、次回以降、そういった部屋、中学校だったら多目的室が何部屋とか、そういったことについて、今回は施設見学とか講演会になるのですけれども、次回以降、そういった諸室のことについてもご説明をさせていただければと思います。 頂いたご意見は、部屋について必要だというところ。神明中の場合も学びの教室とか、そういったところも生徒が教室移動時に通過しないような場所につくったりとか、少し配慮をしております。これは18ページの真ん中です。 様々な子たちが西宮中学校をこれからも利用すると思いますので、部屋の数には限界があるのですけれども配置を工夫して、どんな子でも来やすい西宮中学校をつくり上げていきたいと思いますので、お部屋の諸室については、また次回以降説明させていただければと思います。
委員	もう1つ、神明の基本設計の中に、「学びの教室」というピンクの教室がありますけれども、これは何の部屋なのですか。ここを通らないでいいよということ。
教育施設計画 推進担当係長	「学びの教室」というのは、特別支援教室と呼ばれるものではあるのです。配慮が必要なお子さんとか、そういった方が使われる。一応、平成31年から全ての小学校、中学校にあるものではございます。特別支

	援教室、通称「学びの教室」みたいな形でございます。
委員	よろしいでしょうか。 ほかにございますでしょうか。よろしいですか。
委員	同じような繰り返しで申し訳ないのですけれども、神明中学校は西宮より校地は2,000平米少ないのですよね。そこに校舎を建てられたのですけれども、旧校舎を比べると、西宮より神明の方が大きかったのですよね。教室とか施設がいっぱいあった。そこにうまくはめ込んでつくっているというのはあるのですけれども、それはなくすかもしれません。 何回も言ったように、区の方針としてこう決まりましたっていうのだと、この神明中と同じような形の教室になってしまうと思うのです。私たちが希望している、今お話があったのも、これからの学校教育のための校舎、20年後、30年後、杉並区は特別支援では都内で一番古くから伝統的にやっていますから、そこを重視した校舎づくりということで個別教室を本当に多くつくりましたよとか、そういう新たな視点で提案していただければなと思っています。よろしくお願いいたします。
教育施設計画 推進担当係長	ありがとうございます。 どこまで可能かどうか、これからまた検討という形ではありますが、今、たたきき台の中でこうやって表記があるけれども、こういった表記にした方がいいのではないかとか、こういったことを加えた方がいいのではないかとか、逆にこういった文言は要らないのではないかとか、何かそういったご意見も同時に頂けると大変ありがたいですので、ご意見は、本当にありがとうございます。実現可能かどうかも含めて、これから懇談会の議論の1つとして検討させていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
委員	ほかによろしいでしょうか。
委員	将来計画という項目があって、将来、生徒数が減ることが前提としてあって、減った分を地域施設に転用するという表現があるのですけれども、これがなかなか難しい部分もあると思います。 なでしこ小学校さんは、その辺はどう判断されたか分からないのですけれども、例えば、教室が減ってきて2階の教室を地域施設という場合に、職員室が1階にあると、どうしてもセキュリティの関係で、層で積んでいると転用が難しい形にはなると思います。 私が千葉ニュータウンのときに計画した学校ですと、最初から棟に分けておいて、減ってきたら、こっちの棟は地域施設に融合するみたいな形で、学校は学校で単独で整備するよという、その辺の計画は結構

	難しいと思いますので、かなり具体的な、どういう形で計画をするのかとか、あと、先ほど幾つか部屋の質問とかもあったのですが、この方針は方針としていいと思うのですけれども、次の段階で具体的にどういう部屋をどのぐらい設けて、それをどう近接させるのか、その関係性とか、恐らくその辺を具体的に詰めていかないといけないのかなと思うのです。 神明中のときは、方針から具体的な、我々はよく要求水準というのですけれども、具体的な施設をどう計画していくかということまで落とした上で設計者を選定という形に持っていったのでしょうか。
教育施設計画 推進担当係長	ご意見ありがとうございます。 神明中学校の場合は、西宮中学校とは異なりまして、プロポーザルで設計会社を入れていないのです。ですので、早い段階から設計会社も入って、この懇談会の場で設計会社も招いて、いろいろ議論ができていたというところです。 ですので、西宮中学校の場合は、プロポーザルを経て設計会社さんが入るので、その間は配置とかいろいろ気にはなるのですけれども、まずはどういった学校にしたいか、どういった学校にしたいのだったらこの取組とか、この方針にその思いをどう表現すればいいとか、そういったところになるので、神明中の流れと西宮中の流れが異なるのですけれども、改築基本方針をつくり上げるというところでは間違いございませんので。
委員	分かりました。恐らく難しいのは、プロポーザルの段階でかなり具体的な要求水準を出さないと、設計者も判断できない部分がありますので、そうするといろいろな考え方が出てきて、例えば、選ぶときも学校の性能としてはこっちが良さそうだけれども、こっちの提案がいい、みたいな全然まとまらなくなるので、恐らくプロポーザルのときは、より細かな要求条件というのを整理しておく必要があるのかなと思います。 十分な時間があれば、設計者を選んだ後に今のようなプロセスを言えるのですけれども、恐らくすぐ基本設計に入ることになりますと、その時間がなくなると思いますので、そこを少し明確にしていく必要があるのかなと思います。 例えば、コミュニティふらっとと中学校で共有する施設を設けるのかとか、なでしこさんだとランチルームを共有化しているとか、それから一部特別教室とかは学校が終わった後に開放するみたいなプログラムのようなのですが、こちらの場合はそこをどうするのかとか、そこもか

	なり明確に決めておかとかなないと、設計者を選ぶ段階の前の計画はつくれないと思いますので、その辺が少し気になった部分ではあります。今後決めていくということだと思いますが。
教育施設計画 推進担当係長	ご意見ありがとうございます。 この場ですぐにご意見はなかなか厳しいかと思いますが、7月11日に実際にコミュニティハウスを立ち上げた方のお話を聞いたり、あとは各施設を回って、改築基本方針でこういったことも落とし込んだほうがいいのかなとか、そういったご意見も頂ければと思います。 先生おっしゃるとおり、具体的に少し考えていかないといけない、それは本当にごもつともではあるのですけれども、皆さんのご意見も頂いてこのたたき台をもう少しブラッシュアップしていければと思っておりますので、よろしくお願いします。ありがとうございます。
委員	具体的な話も大変重要で、使われる方々からは、こういう部屋が欲しいとかこういう機能が欲しいというのをどんどん挙げていく中でプランに落とし込まれていくのだと思うので、とても大事なことですけれども、私からは逆にフレームみたいなところでお聞きしたいと思います。 まず1つ、この改築の基本方針は、中学校の改築の基本方針なのか、コミュニティふらっとを含み込んだ、例えば、仮称で言えば、「西宮中学校学びのプラットフォーム改築」とか「構築」の基本方針なのかによって、多分つくられ方は全然違うだろうなというのが1つです。そういう意味では神明中学校さんとは大きな違いがもしかするとあるかもしれない。 なでしこさんのときは、なでしこ小学校等複合施設の改築方針だったと思うので、それに少し近いのかもしれないですけれども、そのところはよく共通理解をしていなければいけないかなとまず思いました。 それを「目指す学校像」と言ってしまうと学校だけなのかなという感じがするのですけれども、今回大きな違いは、このコミュニティふらっとさんは、高齢者の施設を継承するという役割があるのですよね。という意味では、この中学校だけではないというところが多分あるのかなと思ったのと、それから、より複雑なのが、近くにある図書館と保育園とかも同じ場所で改築はするのですよね。
学校整備課長	図書館については、5年後ぐらいから改築に入って、現地で改築をする。
委員	ここには来ないけれども、同じ場所で改築するわけですね。
学校整備課長	そうです。ちょっと離れた場所です。

委員	当初は複合化を前提にした議論をしたということですね。 そういう意味では、ここにも基本方針の根拠に、例えば、前にあった西宮中学校と宮前図書館の改築懇談会で出た意見を今回反映するということもあるのかと思います。複合化はしないのだけれども、周辺施設も含めて変わっていくものがあって、そっちはそっちのコンセプトで改築をするわけですね。 そのときに、例えば図書館機能で言えば、先ほどは個別指導の話が出たのですけれども、今かなりＩＣＴが進んでいるので、不登校のお子さんとかの居場所、そことオンラインでつなぐとかいろいろな機能は絶対出てくるし、通常の授業の中でも調べ学習で図書館とつながって、学校図書館もあるけれども地域の図書館とのつながりはどうなのかとか、いろいろなことがこの西宮中学校さんを取り巻く学びのプラットフォームでは少し要素が多いと思うのです。 そちらの設計は全く情報がなくて、中学校だけでビジョンを描くと、その辺がちょっと漏れてしまうので、全体像が少しは見えないと、きっとコミュニティふらっとのイメージも湧かないのかな、もっと言うと、それがあって中学校は中学校の目指す学校像というのがある、その中で何を重視するのか、それを含み込んだ基本方針にしていきますということであれば、その辺りは結構視野を広げないといけないという難しさがこの学校の改築にはあると思いました。 神明中学校さんの改築と見比べていただくと、基本方針はビジョンという書き方がされているのです。中学校は何をする、コミュニティふらっとは何をするとかではなくて、全体として何を実現するビジョンを持っていくのか、そのための具体的な目標は何なのか、それに対応する取組とか部屋はどこなのか、みたいなところがあって、プロポーザルへというプロセスになるのですけれども、今、事務局から上がってきているものは、学校はこう、コミュニティふらっとはこう、共通だこうとなっていて、ここから全体のビジョンは一段上げてつくっていかないといけない、そういうプロセスが必要なかなと思っているのです。全体を入れて、そしてビジョンに落とし込むということなのかどうか確認をしたい。 そうであるならば、なかなか大変な作業でもあるので、スケジュールも含めていつまでにここで何回ぐらいこれをやって、つくられるのか、多分ゴールイメージは皆さんで持ったほうがいいのかなと。 個々に頂く意見は、先ほどのような形で「こういう部屋が欲しい」と
----	--

	かでいいと思うのです。ただ、それを全体の視野で、これはここの取組、柱に立てられるなどか、これとこれはつなげてこのビジョンになるなどか、ということを考える人も多分必要で、このビジョンが多分出来上がっていくと思うので、それには結構なプロセスが要るかなと思ひまして、そのスケジュールも確認しておきたいなと思ひました。 お願いします。
教育施設計画 推進担当係長	ありがとうございます。 まず、私が当初申し上げた目指すべき学校像、これは目指すべき複合施設と思われまふ。大変失礼いたしました。 あとは、周りの施設の計画とかそういったものも考慮して、こういったたたき台の中に入れていく。あとは、最終的に神明中のようなこのビジョン、目標、取組になるのかどうか、そういったところ。あとは今後のスケジュールについて頂いたのですけれども、今回はあくまでも皆様からの第1回目のご意見を取り急ぎ事務局でまとめてみましたというレベルになりましたので、次回以降、今回も含めてどこまで改築方針を落とし込めるか、神明中のような形でできるのかどうか、こちらのほうでも検討させていただきたいと思ひます。 周りの計画と一緒にという形については、皆様のご意見も頂ければと思ひますし、あとスケジュールについては、実は最後の事務局からの連絡でお話ししようと思ひていたのですけれども、まず、今日も皆様からこちらについてご意見を頂きたいということでお話しさせていただきます。 7月11日に施設見学、講演会を経て、そこで経験したものを、先ほど申し上げたようにこの基本方針にどう落とし込めるか、そういったものも皆様から、もし時間がなければアンケートという形で記載していただいて事務局に頂く。 今度、7月30日にまた懇談会を開かせていただく予定ですので、そこで生徒たちの意見とか、先生のご意見も恐らくこのタイミングで出てくる形になりますので、そういったものを皆様に発表しつつ、またたたき台をつくる。 その後、8月17、18日あたりでオープンハウスを予定しております。昨年もオープンハウスやったと思うのですけれども、こちらの西宮中学校で、今の懇談会がどこまで進んでいるか、そこまでの改築基本方針は今こういった形ですよということでパネル展示を行いまして、周りの区民の方々からのご意見、近隣の方々からのご意見を頂くという形で考え

	ております。 最後の８月２９日のとき、今回の資料でつけた「改築ニュース」という、最後の資料なのですが、そちらの裏面に大体のスケジュールを記載しております、８月２９日にはそれこそプロポーザルで使えるような改築基本方針をたたき台ではなく、きちんとしたものをつくり上げていきたいと思います。 ですので、回数としてはそこまで十分ではないと思うのですが、先ほど申し上げた講演会を聞いたり施設見学に行ったり、あとはもう一度皆さんと話し合ったり、そういったところでつくり上げていければと思っております。 回答になっているかどうか申し訳ないです。
委員	ありがとうございました。目安が分かったので。
委員	今お話を伺って、一番大事なところだと思ったのは、この懇談会の１番の目的は、西宮中学校の改築から始まったと思うのです。結果的にはコミュニティふらっとを併設しますと区で決定されたわけですが、もちろん結果的、実質的には複合化になるのかもしれませんが、中学校の学校の施設をしっかりとつくるところを第一義的にしていただかないと、私は大変心配です。 私立に流れたといっても公立中学校・小学校に通う子どもたちが多いわけですから、そういう意味では、公立小学校・中学校の役割はすごく大きいと思うのです。もちろん地域の人たちや社会とつながっていくことは大切です、そのための仕掛けというのは大事だと思いますけれども、主に教育がしっかり基本的に守られないと、大変なことになるという危惧を持っておりまして、考えの基本、第一義としては中学校の改築を主に挙げていただきたいと思うのです。 その上でコミュニティふらっとの部分がどのようにつくられるかということを第二番目に据えていただかないと、本来進めてきた、私は最初の懇談会から出ていますが、地域の願いは中学校独立、単立でということが実は多かったのです。ですけれども、区の方針として経済的な、財政的なこともあり、また、基本方針の中でぜひコミュニティふらっとをつけたいというご希望があったと思うのです。学校が開かれたものになるということは賛成ですが、一義的なところをしっかりと、知識を学べる場所ということにしっかりといただきたいなということをタイトルの上からもお願いしたいと思います。
教育施設計画	ご意見ありがとうございます。

推進担当係長	まずはおっしゃるとおり、西宮中学校の改築というものが第一義的に来ると思いますが、コミュニティふらっとのことも一緒に考えて、最終的に同じ建物、施設ということで計画、方針を立てていければと思うのですが、委員おっしゃるように、まずは中学校、使うのは生徒と先生、そこは第一義的に考える、そこは方針として必要な部分と私も思っております。けれども、コミュニティふらっとのことを忘れてはいけないというところも私の中ではございますので、委員のご意見を参考にさせていただければと思います。ありがとうございます。
委員	私も同意見で、第一義的にやはり中学校第一でずっと主張してきましたので、それがちょっと途中から変わったなという印象を受けています。ぜひ学校中心の発想でお願いします。 もう1つ、学校というのは災害時の避難場所になる。ほかの委員が先ほど3つ言いましたけれども、倉庫を造る。松庵も倉庫がなくて、公園にやっと大きな倉庫を造っていただきまして、これが今大変機能しています。高四の分も入れてあげています。高四の学校は狭いということで。やはり地域で協力し合うことが必要なということが1つ。 それと、高2の校舎がきれいになったとき、井戸の水が出るということで、そこからの排水、いろいろ流れるように造ってくださったと。これはいいなと思って見ていたのですが、その後に神明中の子どもたちが避難訓練をやっているということで見学に行きました。そうしたら、その中に震災救済所の方がおりまして、便が流れるのは、単独ではいいけれど、ある1か所に流れていくと、そこで詰まってしまって、今問題になっているところがあるのですよ、というお話を伺いまして、必ずしもこうやったから全てがうまくいくとは限らない。だから、その後の情報がまだ入っていないのですけれど、これについても役所は把握していますでしょうか。 災害時、私たちは紙に入れてやりなさいと指導していますけれども、井戸が出るところは流れる、そういうところを新しく造っている学校があるのです。そういうところがたくさんになった場合に、1回は流れていいけれども、行く先々で詰まっているという情報が入ったので、どの程度把握していらっしゃいますか。
教育施設計画 推進担当係長	防災課であればもしかすると把握しているところがあるかもしれません。 今の学校ですと、井戸だけではなくプールの水もマンホールトイレの排水として利用いたしますので、杉二小学校はちょうどこれからグラウ

	ンドを造ったりするところなのですけれども、そこもプールの水と防災井戸を使ってマンホールトイレ、排水という計画になっておりますので、マンホールトイレが詰まってしまう、そういったことがあるということ、私から防災課に確認しまして、実際どうなのかとか、何か訓練でそういったことの対策をしているのかとか、そういった形で私のから確認させていただければと思います。後ほど皆さんに情報共有をさせていただければと思います。 西宮の震災地救援所だから恐らく皆さんもご存じだと思うのですが、トイレは本当に一番大切なところで、飲んだ水は必ず出たりとか、食べた物は必ず出ますので、マンホールトイレも含めて、事務局で防災課に確認をして、必要であれば、例えば担当から説明してもらったり、そういったことも考えられるかと思いますので、そういった形でよろしいでしょうか。
委員	いろいろお話を伺っていて、私はふだん西宮中学校におります。それからコミュニティふらっとにも実は関わっております。ここで1つ、ゆうゆう館と書いてあるのですが、私は成田に関わっているのですけれども、将来的には、ゆうゆう浜田山館との関わりで、スムーズにコミュニティふらっと成田では高齢者が気持ちよく利用してくださっているので、ここに高齢者配慮と書いてあるのですが、運営上、どちらかというところ、コミュニティふらっとの運営をよくするということがすごく肝心なところで、施設のハード部分でいくと、それはいろいろな多年齢が利用できる場所ということが必要なかなと思っているのです。 それと、ふだん私は西宮中学校でコーディネーターをしていて、今日も6時間目、ゲストをお呼びした総合学習をやっているのですけれども、そこに、今日は元CAの方に来ていただいてやっているのですけれども、地域の方でもっともっとそういう有能な方たちを私は常に発掘したいと思いながらいろいろなところと関わっているのですけれども、コミュニティふらっとができたときに、そこを利用することによって、そういう地域の方と関わることはできるのではないかという期待感もあるのですね、実際は。 ただ、私はふだん西宮中におりますので、子どもたちは毎日スペースが足りなくて、どこかで生徒会にしても、生徒たちが、クラスの委員会が、放課後集まって話し合いをしたいと思っても場所もないのです。吹奏楽部がパートごと練習したいと思っても、この多目的室を3つも4つにも分けて練習しているのです。

だから、皆さんがスペースが足りない、いろいろな場所が欲しいという話をしているのは事実で、放課後、図書館を利用したくても、図書司書の勤務は4時45分なので、結局そこを利用しても1時間足らずなのです。6時までいさせてあげたくても、そこにいる責任者がいないので利用できないということもあったりするのです。

そうすると、フリースペースとして子どもが集まれる場所は、西宮中学校はこの敷地内で限界かなと思っているときに考えているのは、コミュニティふらっとなのです。そこは夜9時まで運営していますよね。なので、その部分が、例えば、西宮生が有効的に使えるスペースが定期的に、この時間帯までは、9時まで。

定期考査が昨日まであったのですけれども、その1週間前まで6時までずっとここでテスト勉強しているのですけれども、子どもたちは終わった後、図書館に行って8時まで勉強したいのですよ。でも一応学校としては「6時に帰りましょう」と言って、帰して、随分多くの子が図書館に行くのです。

でも、図書館は静かに過ごす場所というので、たまに出禁になってしまうことがあったりするので、いろいろな活動をしたい、いろいろしたいと思っても、結果、行く場所がない、ない、ないで、西宮の子たちがいろいろな活動をしています。そのときにスペースを与えてあげたいなと本当に思うわけです。

でも限られたスペースであるのは事実だし、せっかくコミュニティができるのであれば、大いにその部分が中学生にも利用できるいいスペース。

中学生が使わないことというのは、一日を見てもあまりないのですけれども、地域の方は、コミュニティふらつとができれば朝9時から夜9時まで、ゆうゆう館も朝9時から夜9時までやっているものの、いろいろなスペースが変わってくるので、ゆうゆう館よりもラウンジといういいフリースペースもできたりして活用できると思うのです。コミュニティふらつとは、私はすごくいい場所だと思っているので、それは他年齢にも利用できますし、特に中高生、西高の子たちも場合によってはコミュニティが利用できる状況ができると思うのですよね。

なので、そういうことを考えた設計を考えるときに、当然安全管理は必要なことかとは思いますが。だから、相当建て方に工夫をすることの大切さは感じてはいるのです。

それから、防災に関しても、常に立入会長を中心に私もそちらに参加

させていただいて、この地域は本当に防災関係も地域の方たちが頑張ってやってくれています。ただ、高齢的なものもいろいろあるし、やっている人たちが一部という部分ではなくて、設備をいろいろなところに置くというのも本当に敷地外に防災倉庫もあったり、いろいろな不自由さを工夫してやっている現状があるのです。

ですから、将来あと 80 年後まで使いたい未来の学校をつくるのであれば、今、不満と思っている部分、不足と思っている部分が、どうだろう、将来になったらこんな工夫ができるのではないかと未来の学校を想像させてみるのもすごく大切で、その辺りは専門家の方たちが特に研究されているのであれば、そういうところは考えることが可能ではないのかと思っているので、どこが優先ではなくて、私は全部優先したいなと思っているのです。

次回、東山田、竹原先生に来ていただけますよね。特に竹原さんは運営して長いではないですか。そのところでやっていて、現状、どれだけ中学校と関わってやっているのか。敷地の部分でいったらうちの倍ですから、いろいろな状況が違ってはくるものの、限られた敷地の中で西宮がやれるものは、ここでやっていることを吸収もしたいなと思っているところがあるので、逆に来月竹原さんに来ていただくときには、運営上、どういうところが中学校とあるから、こういうコミュニティとしてつながりが持てる建て方だからいいのだというところの話をしていただければ、改築基本方針というのが、今お話ししたらすごく重要なもので、これによって設計する人たちが校舎の建て方を考えるって、とんでもない話だなと思って、どれもこれも抽象的な話なのに、もっと具体的にいろいろなものを細かく出さなくてはいけないのではないかと考えているのと、あくまでもこれは、目指すべき複合施設ではなくて、西宮中学校という捉え方でこれを読んだのですけれども、さっきほかの委員がおっしゃったように、本当に複合施設としてではないですよという気もしたのですけれども、その辺りも含めて、もっと検討する余地があるには期間が少ないと思っているところがあるので、今、皆さんが言っている意見はすごく重要な意見だらけなので、それらを全部吸収して取り入れていただきたいと思っております。

あと、先ほどほかの委員もおっしゃったように、本当に今、外国人が小学校も中学校も来ております。次から次へと。私も今、全く日本語の分からない中国人を教えているのですけれども、スピーカーを使ってふだんやっているのですけれども、それがだんだんしなくて済むようにな

	れたらいいと思っているくらいなので、その辺りも個別にできる場所が本当に必要というのを感じています。どうかよろしくお願いします。 以上です。
教育施設計画 推進担当係長	ありがとうございました。大変貴重なご意見を頂きました。 私の回答を短くするようにと今指示を頂きましたので、これ限りにするのですが、委員の意見を参考にさせていただきますので、ご意見ありがとうございました。
委員	1つ設計者の選定のことで自分は考えていて、ほかの委員もお話していましたけれども、プロポーザルでいいのかなと。プロポーザルだと、前提条件をかなり細かく示さないと、要するに競争ですから、その中には当然今までの意見をどんどん入れないといけないわけですね。 前回の図書館を入れるときに、いきなり設計者が来て、「まだ基本も決まらないのに何で設計者が来るんだ」という、そのときは皆さんがなぜと思ったのですが、今回はある程度方針が決まっていることですよね。実際にゆうゆう館の建て替えをやることですから。 それだったら先に設計者を決めて、これだけのいろいろな意見があるのだったら、同席してもらって、いろいろ聞いていってもらったほうが身に染みるというのかな、実際に設計するときに、こういう意見もあった、こうだったという生の意見が聞けるのではないかと考えているのですよね。ですから、プロポーザルもこれにそぐうのかどうか疑問な点があったので、質問しました。 以上です。
学校整備課長	ありがとうございます。 先ほどから、この基本方針はすごく大事だと、それは確かなのですが、今回のプロポーザルというのは、設計のコンペではなくて、設計を決めてしまうということではなくて、今回の西宮の課題についてしっかりコミットしてくれて、しっかり理解をしてくれて、しっかり具体的な提案ができる力のある設計者を選ぶということです。なので、設計者を選んだ後に、またさらにこの懇談会はやって、企画提案で設計者を選ぶときには出してもらうのですけれども、それだけにこだわらず、複数の案をこの場でも改めて審議をして、どの配置プランが、基本方針とか我々の欲しいものに近いのかといったやり取りを踏まえて、その後に決めていくということですので、さっき委員からもありましたけれども、ものすごく完全な与条件をしっかりと決めきって、細かいところまで求めなくても、その後があるということでご理解いただけるかと思いま

	す。
委員	事務局にも確認ということもあるのですが、これは8月に1回基本方針を決めた後にプロポーザルに入って設計者を選ぶと。私も経験上かなりこれをやっているのですけれども、通常は普通のプロポーザルでも、ある程度の要求水準を出す。例えば、少なくともどういう部屋を造って、さっき言ったように、今回コミュニティふらっとも入りますので、コミュニティふらっとと学校側がどういう形で連携するのかなとか、運用をどうするのかとか、それから共有スペースがあるのか、さっきコミュニティふらっとも使えたほうがいいという話もあったり、その場合、平日の昼間はどうか共存するのかとか、その辺のマネジメントに関してもある程度は出さないと。こちらは設計者を選ぶときに提案で選んでいきますので、問題が何も設定されていないのに、「いい学校をつくってください。方針はここにありますが」といっても、恐らく方針に関しては、これは当たり前だと思うことはありますが、具体的にどういう内容で学校をつくるのか示されないで提案はできませんので、この後2回、7月、8月までに、少なくともどういう施設をつくるのかということまで決めるのか、さっきおっしゃったように、基本計画者を選ぶプロポーザルというものもあるので、これから一緒に皆さんでつくっていくと。 その場合、基本設計が最後に終わるということではなくて、恐らく基本計画がまとまるということで、その後に基本設計になるパターンがありますので、そこはまた事務局とも相談して、通常のプロポーザルとはかなり違うという前提であれば、そういうやり方もなきしもあらず。恐らく設計者のクオリティだけで一旦は選んで、その後一緒になって設計案をつくっていくということもあるので、その場合のスケジュール感はまた少し変わってくると思いますので、おっしゃるようになかなか難しい。 かといって、こういう部屋が欲しいとか、防災のときはこういうのが必要ではないかと今いろいろ出ているのですが、恐らくそういったき台が出てこないとなかなか言えない。今部屋がこうなっているので、ここは狭いのではないかなとか、ここは使えるのではないかなという話になる。何もない状態でなかなか意見も言いにくいと思いますので、ちょっとその辺は何を最終的にプロポーザルまでに決めていくのかということを明確にしたほうがいいと思います。 特に今日も規模とか諸室とかそういうものが書いてあって、まだそこは出てきていないということなので、そういう意味では少し明確にした

	ほうがいいかなと個人的には思います。
学校整備課長	ありがとうございます。 中学校についてはこれから 35 人学級ということも法改正もされて、来年から順次ということも本決まりされつつありまして、今後の子どもの数の推計なども含めて、今後の必要な諸室的なところと、あとコミふら側も当然どういった施設、諸室をしていくか、ラウンジが必要ではないかとか今日もいろいろご意見を頂いて、次回、建設見学なども踏まえて少したたき台を出させていただきながら、プロポの前に文章でのふわっとした基本方針だけではなくて、ある程度学校側、それからコミふら側のこんな形の諸室を考えていますということと、あと先ほどもあったような相互利用をどういう考え方でやるのかというところ、その考え方というのはある程度出していった上で、設計の草案をまとめてプロポーザルをやっていくと。そんな考え方ですので、今回まだふわっとした形かもしれませんが、次回以降、その辺りの具体的なものも出してけるようにと思っています。
委員	どうもありがとうございました。 ちょっと 1 つ、時間がないので、要望というかお願いがあるのですけれども、現実的に西宮中学の建て替えが始まるといろいろな問題が出てきますよね。今、見ていますと、我々委員は学校から遠いところにいる人がほとんどで、これから解体とかいろいろな問題が出てきたときに、私も経験あるのですけれども、かなりの騒音と近所に迷惑がかかるということもあるので、その辺を近隣の住民の方に丁寧に説明していただきたいと思います。実は私も同じ仕事をしていて、解体直前に、3 か月学校建築を止められたこともありますので、そのとき、もうちょっとこういうふうにやっておいたほうがいいかなという反省もありましたので、我々から見たら遠い建物でも近い方が見れば、公共施設は一部によっては、我々直接言われましたけれども、「学校は迷惑施設だ」とはっきり言われて啞然としましたけれども、そういう考えの方もいると思うので、ぜひ近隣の方には丁寧なご説明をよろしくお願いしたいと思います。
学校整備課長	ありがとうございます。 今日も参考資料 5 として、今回の改築関係のニュースを創刊号として早速つくりまして、学校関係の方、地域の方々にお配りするのはもちろんですが、近隣の方、直近の一侧、二側にお住まいの方は改築でかなり影響を受ける当事者の方でございますので、そちらについては個別にお

	伺いして、ご説明なりもさせていただきながら丁寧にやっていきたいと思っています。ありがとうございます。
委員	時間がない中で複数回すみません。 先ほどから皆様のお話を伺って、これまでの議論は大分というか、私は途中から参加している者ですから少し理解してきたというところなのですがけれども、例えば、複合施設だけけれども、やはり学校のビジョンをしっかりとしたいということであれば、今のたたき台では薄いかなというところがあります。なぜかという、学校の教育ビジョン的なところが取組２の「今後の新たな教育」みたいなところにしか書いていなくて、あとはほとんど環境とかスペースのことになっているというところがあるかなと。 このコミュニティふらっとも、高齢者の施設ということだけではなくて中学校の教育ビジョンを実現していくための施設でもあると。例えば、特にその色合いが強くて、こういうふうに使いたいという思いがあるのであれば、それは中学校の教育ビジョンにしっかり合わせて要望するようなことがちゃんとなされていたほうがいいかなと思います。 例えば、先生がつくられている学校経営計画とか、学校運営協議会の皆さんで議論されていることはたくさんあると思うのですがけれども、例えば違いを認め合うみたいなこととか、可能性に挑戦するとか、そういった言葉が既に強くこの学校にはあると思いますので、先ほどおっしゃっていた可能性に挑戦している地域の方に来ていただきたいということがあれば、そういった中学校が目指す教育の中に沿って訴えていくことも大事なかなと。 それから、学校の課題として、調べ学習とか深める学習とか、子ども中心の学びをやるスペースがないみたいなことがあるのであれば、そこも周辺施設に期待していくこと、複合化に期待していくこととしてしっかり書くことが大事かなと思いますので、縦割りではない形、それに応えるコミュニティふらっとさん側の、これまで使われていたご高齢の皆さんからの思いもあると思うので、そこはすり合わせだったり、また新しい知見に変えていくことは必要だと思うので、それをやってみないことには、この学校の改築に向ける思いが伝わりにくいかなという感じがしました。 それは８月までで、どこから先が基本計画なのかとか、その辺はもう少し議論があるところかもしれませんが、推進の方向性としてはその辺を強く出しながらやっていくほうが、せっかくこれだけのアイデ

	アをお持ちの皆さんが集まっているので、いいかなと思いました。 以上です。
委員	では、まだご発言されていない方、何かご意見はございますでしょうか。そろそろお時間になりますけれども、いかがでしょうか。 それでは、長い時間ありがとうございます。一応これで議題は終了となります。 閉会の前に事務局から説明をお願いいたします。
教育施設計画 推進担当係長	ありがとうございます。 今回の改築基本方針で、今この場で何か発表するというのがなかなか難しいという方については、申し上げたとおりアンケート用紙に記載していただいて、後ほど郵送でも結構ですし、もしメールを使える方でしたら、メールアドレスをそこに書いてございますので、お名前を入れていただいて、ぜひご意見いただければと思いますので、お願いいたします。 まず事務局から連絡です。これは次第6です。 まず、大きく2つございます。 1つ目は改築ニュースです。先ほどもお伝えはさせていただいたのですけれども、参考資料5です。今回の懇談会のこういった流れとか動きにつきまして、改築に向けて検討を進めていますので、近隣の方々、学校関係、コミふらの方々に状況をお知らせするために、この懇談会の状況を含めて改築ニュースを配布します。 今お配りしたのは創刊号で、今月中に近隣の方々や西宮中の保護者、生徒、本日も校長先生にお越しいただいているのですけれども、学区域の小学校にも学校を通じて配信等もさせていただきます。学校によっては電子配信という形をお願いをしております。 防災会や町会にも回覧をお願いできればと思いますので、また後ほど送らせていただきます。 コミュニティふらっと関係でも地域課を通じて掲示とか、あるいは配布等をして周知を図っていきたいと思っています。 こちらのニュースは、進捗状況に応じて都度作成・配布をしてまいります。今回の内容は、懇談会のスタート、今後の進め方、想定されるスケジュール等をお示しし、ご意見にもありました情報発信をしてくれというところで、今回、この改築ニュースでまかなっていただきたいと思います。こちらはホームページにも掲載をいたします。 2点目です。本日もたくさんの意見、本当にありがとうございました。

	私のつたない説明、大変申し訳ございませんでした。本日の会議録につきましては、前回同様、まとめ次第お送りさせていただきますので、内容のご確認をお願いできればと思います。 もし可能でしたら、こちらメールで、電子で大丈夫という方がいらっしゃいましたら、メールでお送りさせていただきます、メールで返信いただければ大変ありがたいです。 次回の懇談会ですけれども、先ほどもお話ししたのですが、7月11日金曜日を予定しております。今回は午後1時スタートで、スケジュールといたしましては、先ほど申し上げた竹原さんにご講演いただいて、その後、バス移動で視察として、コミュニティふらっと本天沼、あとは改築した学校1か所回りたいと考えておりますので、午後1時前にはこちらに集合していただきまして、最終的に5時ごろこちらに戻るというスケジュールを考えております。半日いっぱいという形になります。 視察学校につきましては、今回懇談会資料を送付した際に、視察希望施設のアンケートを入れさせていただきます、本日回収いたしますのでよろしくお願いします。7月11日の視察候補の参考とさせていただきます。先方都合によってご希望でない施設をとという形になる可能性もございますが、あらかじめご了承くださいと思います。 また、コミュニティふらっとの視察先として、地域課からご説明がありますので、よろしくお願いします。
コミュニティ ふらっと整備 担当係長	皆様、長時間ありがとうございます。 私、区民生活部地域課コミュニティふらっと整備担当係長です。どうぞよろしくお願いいたします。 7月11日に視察するコミュニティふらっとということで、今回、本天沼を選定させていただきました。その理由について簡単にご説明いたします。 まず、施設規模というところが1つ挙げられるかなと思っております。これまでコミュニティふらっとは8施設を開設してまいりましたけれども、整備の経緯等によりまして、施設規模にかなりばらつきがございます。 昨年度ワークショップで検討を行いましたけれども、その際にはコミュニティふらっとの規模として、おおよそということで600平米程度の延床面積を想定しておりました。今回行く本天沼が500平米程度ということで100平米程度の差異はあるのですけれども、近い規模ということで今回選定させていただいたということが1つです。

	2つ目に、周辺に中学校があるかどうかというところです。中学校を含めて学校施設と併設しているコミュニティふらっとは、これまでございません。ただ、本天沼に関しましては、直線距離で300メートル弱ぐらいのところに天沼中学校というちょうど今改築を検討しているところがございます。同じぐらいの距離に天沼小学校もございます。ということで、中学校、小学校が近くにあるということで、今後整備するコミュニティふらっとの参考になるのかなというところで選定したというのが2つ目。 最後に3つ目です。実際の中学生の利用状況を挙げさせていただきます。本天沼は、昨年10月に開設した施設ではあるのですが、実際に小学校、中学校の生徒さんが使われているということが確認されております。また、ティーンズラウンジと呼んでいるのですが、事業者の自主事業という形で週に1回、多目的室という少し広い部屋を小・中・高校生専用のスペースという形で開放して、自由に使っていいよと。卓球とかゲームという形で使えるような事業を行っているというところもあります。 今回、残念ながら、視察の日にそのティーンズラウンジの実施曜日に当たるということではないので、そちらを直接見るということができないのですが、ただ、実際にそういう状況で使っているというところも含めて、当日、運営している事業者から皆様にご説明させていただきながら、このような利用をされているというところを説明したいと考えていますので、以上、申し上げた点を踏まえまして、本天沼の視察とさせていただきますと思っています。 私からは以上でございます。
教育施設計画 推進担当係長	ありがとうございます。 集合時間等の詳細なスケジュールは、今回の送付物に同封してございます。次回は半日になりますので、例えば講演会のみとか、そういったことでも可能ですので、こちらにご相談いただければと思います。 続いて、今後の予定ですが、先ほどちょっと私申し上げたのですが、第4回目の懇談会は7月30日の1時半から、その後、8月17、18日でオープンハウスを行いまして、プロポーザルの前は8月29日と計画してございます。こちらは改築ニュースの裏面に、月だけでも掲載してございます。

	長くなり大変申し訳ございませんでした。事務局からの連絡は以上になります。
委員	それでは、最後に部長よりご挨拶お願いいたします。
学校整備・支援 担当部長	学校整備・支援担当部長です。本日はどうもありがとうございました。 長時間にわたりまして、たくさんのご意見を頂きました。本日お示した資料はまだまだたたき台というところで、皆さんの意見をこれからどんどん反映させなければいけないしまたそれが今後の改築検討懇談会の議論にしっかり生かしていけるような形に取ればと思っております。 現在、学校整備課が中心になって進めておりますけれども、これからも改築に関係する部署、コミュニティふらつとやゆうゆう館の関係部署の職員も常に参加をさせていただいて、皆さんの意見を検討の中に反映させる形を今後も取っていきそれを改築基本方針生かしていけるよう、皆さまとよく議論をさせていただいて整理していきたいと思っております。本日話せなかったことで気づいた点などがあれば、アンケートで回答頂くような形を取って、さらにたくさんのご意見を頂きながら、改築基本方針をつくってまいります。 コミュニティふらつとと学校の併設という杉並区では今までにない取組ですので、きちんと整備するためにも、皆さんの意見が大切だと思っていますので、今後ともよろしくお願いします。 最後になりますが、地域の理解が大切ですので、配布資料の中にあるニュースなども活用して進捗状況などをしっかりお伝えしていきながら、地域全体で西宮中学校の改築を進めていければと思っていますので、今後ともぜひご協力の程よろしくお願いしたいと思います。 本日はどうもありがとうございました。
委員	それでは、本日はこれで閉会といたします。ありがとうございました。